

競 技 上 の 注 意

1 競技について

競技は現行の（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスルールブック」及び本大会要項に従って行う。

2 進行について

- (1) 個人・団体とも進行予定表を基に行うが、時間をそろえることはせずに前の対戦が終了次第、次の対戦を入れることとする。進行予定表の時間はあくまで目安である。
- (2) 本部の判断により、コート変更する場合があるので、放送には十分注意すること。
- (3) 団体戦・個人戦ともに、受付時間を8：00～8：15とする。各チームの監督が、時間内に口頭で受付を行うこと。

3 選手変更について

- (1) 団体戦のメンバーを申込後に変更する場合は、出場チームの代表者（校長・代表指導者）より各県専門委員長を通して団体戦受付時に大会本部（競技委員長）に届け出る。その後の変更は認めない。
- (2) 個人戦で1名が病気などで出場不可能になり変更する場合は、出場チームの代表者（校長・代表指導者）より各県専門委員長を通して個人戦受付時に大会本部（競技委員長）に届け出る。
- (3) 各変更届は、8：00までに各県専門委員長に提出すること。

4 マッチについて

- (1) マッチは7ゲームとする。ただし、雨天その他やむを得ない事情の時は変更する場合がある。
- (2) トスについては、公認マークのあるラケットの場合は、これまで通りの方法とする。ただし、公認マークのないラケットの場合は、ラケットのグリップエンドにあるメーカーマークの上を表とする。公認マークの有無については、必ずトスをする前に確認すること。

5 団体戦について

- (1) 3県ずつ4ブロックのリーグ戦とし、2面展開で第3マッチまで行う。各ブロックの上位2チームによる決勝トーナメントを行う。なお、決勝トーナメントの抽選は、リーグ戦終了後に、以下のとおり行う。
 - ① 各ブロックの1位は、トーナメントの所定の場所に入れる。
 - ② 各ブロックの2位は、同ブロックの1位と初戦で当たらないように抽選する。
- (2) 決勝トーナメントは点取り法とし、2点を得たチームを勝ちとする。マッチは2面展開で行う。ただし、準決勝・決勝戦は3面展開とする。
- (3) オーダーは、本大会実行委員会に参加申込をした者（8名以内）の中から3ペアを編成し、**3部（複写）**作成する。オーダー用紙は対戦校が決まり次第、オーダー提出所（本部内）に1部提出し、もう1部は対戦校の監督と交換する。もう1枚は自チーム控えとする。ただし、予選リーグ初戦のオーダーは団体戦の受付と同時に提出すること。試合が連続する場合は、対戦相手決定10分後にオーダー提出、15分後集合完了とする。

- (4) 審判への質問は、監督またはプレーヤーのうち1名が、冷静にマナーを守り、マッチの進行に支障とならないように行うこと。

6 個人戦について

- (1) 試合の呼び出しは原則として行わない。進行については十分注意し、待機すること。
- (2) 審判への質問は、プレーヤーのうち1名が冷静にマナーを守り、マッチの進行に支障とならないように行うこと。

7 監督・コーチについて

- (1) 団体戦・個人戦とも監督・コーチのいずれか1名のベンチ入りを認める。
- (2) マッチ内に選手に助言する場合は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前のインターバルの1分以内（ヒートルール適用時は3分以内）とし、監督（コーチ）が所定のベンチで行うこと。
- (4) 監督（コーチ）の服装は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを履くものとする。また、IDを必ず着用すること。詳細は「東北中学校体育連盟ソフトテニス専門部服装・ゼッケン規定 2025.09-2026.08」に準ずる。
- (5) 監督の追加・変更は、所定の用紙に記入し受付時に提出すること。
- (6) コーチの追加・変更は、所定の用紙に記入し、学校が外部指導者を追加する場合は、外部指導者確認書を添えて受付時に提出すること。

8 ベンチについて

- (1) 団体戦は原則2面展開で行うため、監督（コーチ）は両コートの中央にベンチを置き、その場所で助言を行うこと。ただし、準決勝・決勝は3面展開とし、ベンチは真ん中のコートに置く。
- (2) 個人戦で2ペア以上出場し同時にマッチが行われている場合は、隣接するコートであれば選手は監督（コーチ）の助言を聞きに行くことができる。また、監督（コーチ）が試合の途中で他のコートに移動することはできるが、一度離れたベンチには再び戻ることはできない。
- (3) マッチ中にベンチに入った監督（コーチ）が交代することはできない。
- (4) 個人戦で同一チームから2ペア以上出場している場合は、同じペアに対して登録された監督（コーチ）がそれぞれ別のペアのベンチに別れて入ることを認める。また、同一チーム間での監督（コーチ）の入れ替えを認める。
- (5) ベンチは、団体戦も個人戦も番号の小さいチームを審判台から見て左側とする。
※あいづ総合体育館メインアリーナのベンチについては、番号の小さいチームを南側とする。

9 招集・誘導について

- (1) 招集は、個人戦・団体戦ともに行わないこととする。全ての試合をコート集合とする。

10 応援について

- (1) 一斉応援は認めるが、審判のコールの妨げにならないように行うこと。
- (2) 団体戦では、次の対戦選手がアップを行う場合を除き、選手は所定のベンチに座って応援すること。

- (3) 音の出る道具を使つての応援は禁止とする。また、ベンチに団扇の持ち込みは許可するが、応援の道具として使わないこと。
- (4) 団体戦での整列後のエール交換は行わないこと。
- (5) 応援は自陣のベンチの後ろで行うこととする。

1 1 マナーについて

- (1) プレーヤーはお互いにマナーを尊重し、過度のかけ声や相手を不快にする態度や発声をしないこと。
- (2) プレーヤーは審判の指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。
- (3) 応援は、プレーをスムーズに進行させるために過度にならない（審判のコールやプレーに支障がない）ようにすること。相手を不快にしたり、他のコートに迷惑をかける応援をしたりした場合、応援団の退場もしくはプレーヤーを失格とする場合がある。

1 2 熱中症対策について

- (1) 熱中症対策として、チェンジサイズ時に体を冷やす目的でスポンジ、タオル、ミスト（霧吹き）を使用することや、ひしゃくでバケツの水をかけることを認める。
- (2) WBGT=25℃以上の場合はチェンジサービス時及びファイナルゲームのチェンジサイズ時に「飲水タイム」を設ける。
- (3) 「飲水タイム」時の打ち合わせを行わないこと。給水後、速やかに試合を再開すること。
- (4) 会場の気温（乾球温度）が35℃以上または、WBGT=28℃以上の場合は、（1）に加え、ヒートルールを適用する。
- (5) 「飲水タイム」もしくは「ヒートルール」を適用する場合は、監督会議時または、テニスコートの状況を見て、放送でその旨を知らせる。
- (6) 荒天などの理由（雷、台風、暑さなど）により、競技方法・ゲーム数・会場を変更することがある。

1 3 その他

- (1) コート内へのクーラーボックスなどの持ち込みは認めるが、個人ベンチ（椅子等）の持ち込みは禁止とする。その他、ベンチへの持ち込みについては本部の指示に従うこと。
- (2) 選手の腕時計の着用は認めない。
- (3) マッチ中、コート内での通信機器等や小型扇風機等の電子（電気）機器は使用できない。